

今後、見られなくなる可能性あり

今すぐ行きたい 世界の絶景



海外旅行のガイドブック、『地球の歩き方』が誕生してから、2019年で40年。

この間も、世界の情勢は変化し、その風景も大きく変わっている。

今後、見られなくなるかもしれない絶景をまとめた1冊が、地球の歩き方40周年記念として発売予定。

その中から、とっておきの6カ所を先出ししてご紹介!

What's

チヴィタ・ディ・
パニョレージョ

イタリアの中部にある、断崖絶壁に囲まれた町。対岸からは300mある橋を渡っていくしか交通手段がない「陸の孤島」。映画『ホテルノヒカリ』のロケ地としても登場した。

Entry

01

ローマから日帰りツアーも出ている

© Thoom / shutterstock.com



イタリア



Civit  di Bagnoregio

チヴィタ・ディ・パニョレージョ

- ① 夏には屋台なども出る
- ② 緑の草が壁を覆い、幻想的な雰囲気醸し出す

近い将来、遺跡と化すであろう「死に行く町」

町は、約2500年以上前、エトルリア人により造られた。かつてはもっと規模が大きかったが、風雨と地震による崩落を繰り返し、現在の姿になった。特徴的な橋でつながれた部分も、かつては陸続きになっていたという。周辺の大地は今も崩落の危機にさらされており、そのため「死に行く町 La citt  che muore」とも呼ばれている。

橋はチヴィタ・ディ・パニョレージョに近づくにつれ勾配を増し、最後にはほとんど町を仰ぎ見る形にな

る。風も強く、崩落の危険性が常にあるというのもうなずける。夏の夏間はローマなどから来るたくさんの観光客でにぎわうため、100人程度の人口がいるとされるが、ローシーズンの冬になると、その人口はわずか20人にも満たないという。そのため、近い将来には町としての機能を失い、完全なる「遺跡」になってしまうことだろう。現存する町として生きている姿を見られるのは、まさに今だけなのだ。



© jackbolla / shutterstock.com



© canadastock / shutterstock.com

コロニアルな街並みを、クラシックカーが駆け抜ける

1959年、チェ・ゲバラやフィデル・カストロら革命軍の勝利により、キューバはそれまでのアメリカ支配から解放された。以来、平等を謳う社会主義が半世紀にもわたり貫かれてきたキューバ。スペイン統治時代の建物がそのままに残る街には、今も1950～60年代のアメリカ車が走り、まるで時間が止まっているかのよう。人々は車がたとえ故障してしまっても、買い換えるのではなく部品を取り寄せ自ら修理して乗っているという。世界のどこにもないキューバの

風景は、こうして残されてきたのだ。しかし、そんなキューバにも、変革の波は押し寄せつつある。2016年には革命の英雄であるカストロ旧国家評議会議長が死去。弟のラウル政権も2018年に引退。社会主義は名ばかりとなり、個人の売買が認められるようになった。旧市街を行き交うシボレーやフォード、ポンティアックなどのレトロなアメリカン・クラシックカーも、今後見られなくなる可能性が高まってきている。確実に見るなら、今しかない。



3 © Oliclimb / shutterstock.com



4 © Pinkcandy / shutterstock.com



キューバ

Cuba

Habana

ハバナ

③チェ・ゲバラの肖像がある革命広場 ④人々の生活にも、昔の伝統が残っている

Entry
02

What's

ハバナ

キューバの首都。旧市街にはスペイン統治時代のクラシカルな建物が残る。20世紀初めのアメリカ支配、そしてキューバ革命後も、その街並みはほぼ当時のまま残されている。



What's

グレートバリアリーフ

オーストラリアの北東沿岸に広がる、総面積約34万5000km²もの世界最大のサンゴ礁群。エリア内には900もの島々が点在し、多種多様な熱帯魚が生息する。

Entry
03

上空から眺めたグレートバリアリーフ

© Edward Haylan / shutterstock.com



オーストラリア

Australia

Great Barrier Reef

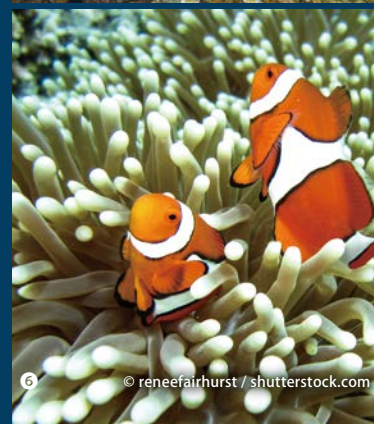
グレートバリアリーフ

⑤ スノーケリングやダイビングで、サンゴ礁群を見学しよう ⑥ ニモことカクレクマノミの姿も見られる

世界最大のサンゴ礁群に忍び寄る危機的状況

ディズニー映画『ファインディング・ニモ』の舞台でもあるグレートバリアリーフは、世界のサンゴ礁の3分の1にも当たる350種類以上のサンゴが生息している。全長約2000km、その巨大さは、宇宙空間からでも存在が確認できるほどというから、驚きだ。しかし、近年の温暖化や異常気象、水質汚染などによりサンゴはダメージを受け、年々小さくなってしまっていると言われている。特に深刻なのが地球温暖化とエルニーニョ現象などの異常気象による水

温の上昇で、これにより広いエリアでサンゴの白化現象が起こっているのだ。またサンゴを餌とするオニヒトデの大量発生も近年連続して発生しているという。エコ大国であるオーストラリアでは、さまざまな対策が進められているが、今後も同じ姿をとどめられる保証はない。映画で見た花畑のような一面のサンゴ礁のなかを泳ぎたいなら、急いだほうが良さそう。



ここ 50 年で形が激変！ 死海の今

死海はヨルダンとイスラエルの国境にあり、ちょうど西半分がイスラエルに当たる。イスラエル、パレスチナ側は浅瀬が多いため、岸辺の水はややにごり気味。水のきれいさや治安などさまざまな面からヨルダン側にアクセスするのがおすすめ。湖畔にはいくつかのホテルが建ち、「死海リゾート」を形成している。

実はこの死海が今、大ピンチ。50年ほど前から毎年1mほど水面が下がり、面積もどんどん小さくなって

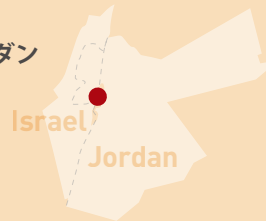
いるのだ。リゾートエリアから15kmほど離れた場所にある死海博物館では、死海の面積の変遷を紹介しており、1950年と現在では湖の形がまったく変わってしまっていることがよく分かる。本でよく見た「死海で浮かびながら本を読む」。そんな貴重な体験ができるのも、あと何十年か。いくつかの環境団体では、2050年にも死海が消滅してしまうと警鐘を鳴らしているのだ。抜き差しならない状況になる前に、死海へ逃げ。



イスラエル／ヨルダン

Dead Sea

死海



- ⑦ 死海の泥でパックすると、肌がすべすべになる
- ⑧ 死海の周りにはリゾートホテルが点在している



© Max Topchii / shutterstock.com



© Hamdan Yoshida / shutterstock.com

Entry
04

What's

死海

ヨルダンとイスラエルそしてパレスチナ(ヨルダン川西岸地区)の国境にある湖。塩分濃度が30%という非常に高い湖では、浮遊体験ができるほか、泥は美容にも効果がある。



What's

ローヌ氷河

スイス南部、アンデルマツからオーバーワルトへ抜けるフルカ峠にある氷河。ウルナー・アルプス山脈では最大の氷河であり、観光スポットともなっているが、近年後退が激しい。



Entry
05

湖にその氷舌をつなげているローヌ氷河

© nullplus / shutterstock.com



スイス

Rhone Glacier

ローヌ氷河



- ⑨ 1996年当時のローヌ氷河。上の写真の左に見えている湖を覆って、氷河が続いている
- ⑩ 氷河の内部を見学することもできる



© nullplus / shutterstock.com

100年で1km以上も！ 衝撃的なアルプスの氷河の後退

国土の大部分をアルプスの山岳部が占めるスイスには、120を超える氷河が存在している。最大の氷河であるアレッチ氷河をはじめとするいくつかの氷河は展望台から望むことができ、スイスを代表する観光スポットになっている。

ところが、これらの氷河は年々後退してしまっているのだ。特に顕著なのが、フルカ峠にあるローヌ氷河。周辺の道路が整備されており、近づくのが容易なローヌ氷河では、古くから氷河の観測が行われてき

た。それによると、約120年前と比べると1km以上も後退したのが分かっている。氷河後退の大きな要因はやはり、異常気象による夏の高温化。冬に降り積もった雪により、氷河が形成されるよりも早く溶けてしまうためだ。

現在も夏にはローヌ氷河まで近づくことができ、トレッキングなども楽しめるが、それもあと何年続くとか。アルプスの氷河の迫力ある姿を見るには、時間があまり残されていないようだ。

遺跡背後の山を登り、絶景の展望台へ

ペルー最大の見どころとして知られるマチュピチュ。よくある観光写真に使われているのは、遺跡を真正面に捉えた姿だが、遺跡の後ろにひときわ高い山がそびえているのが分かるはずだ。その山は、先住民の言葉であるケチュア語で「若い蜂」を意味するワイナピチュ。山頂へは、かつてのインカ道を登って行く。山頂からは遺跡はもちろん、麓のマチュピチュ村から遺跡まで続くハイラム・ビンガム・ロードまでも一望できる。

このワイナピチュへの登山だが、年々規制が厳しくなり、1日の入場者数はもちろん、遺跡への入場時間まで厳格に制限されている。チケットは現地でも購入できるが、ハイシーズンには何日も待つことになるので、事前購入がベスト。ただ、世界中の旅行者たちとの争奪戦なので、旅行のスケジュールが決まり次第、手配しておくこと。

今後も旅行者は増加し、ますます入手がしづらいプラチナチケットとなることは間違いなしだ。



ペルー

Machu Picchu

マチュピチュ



①こちらが観光写真でよく見るマチュピチュ。後ろにそびえるのがワイナピチュだ。②ワイナピチュの標高は2690m。山頂へのトレイルは、急勾配でかなりきつい



① © Allik / shutterstock.com



② © Andy Wilcock / shutterstock.com

Entry
06

What's

マチュピチュ

全盛期には、ペルーをはじめ南米の大部分を支配したインカ帝国の遺跡。標高約2400m、マチュピチュ山とワイナピチュ山の尾根に位置し、「空中都市」や「失われた都市」などと呼ばれる。

pickup
U1

Arlanda/Jumbo Stay
in スウェーデン

実物のジャンボ機がユースホステルに!



実際に使われていたジャンボジェット機747-212Bの機体を利用したユースホステル。アーランダ国際空港内にあり、各ターミナルからは専用のシャトルバスでアクセスする。コックピットはスイートルームになっている。

ADDRESS : Jumbovägen 4, Stockholm-Arlanda, 19060, Sweden
TEL : +46-8-59360400 FAX: +46-8-59360411
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/stockholm-arlandajumbo-stay>
E-mail : booking@jumbostay.com



pickup
U2

Stockholm - af Chapman & Skeppsholmen
in スウェーデン

優雅な船のユースホステル

水の都と呼ばれる、ストックホルムならではの船のユースホステル。古い船舶のキャビンが客室になっている。しっかりと固定されているので、揺れもほとんどない。対岸には19世紀の建物を改装した宿泊施設もある。



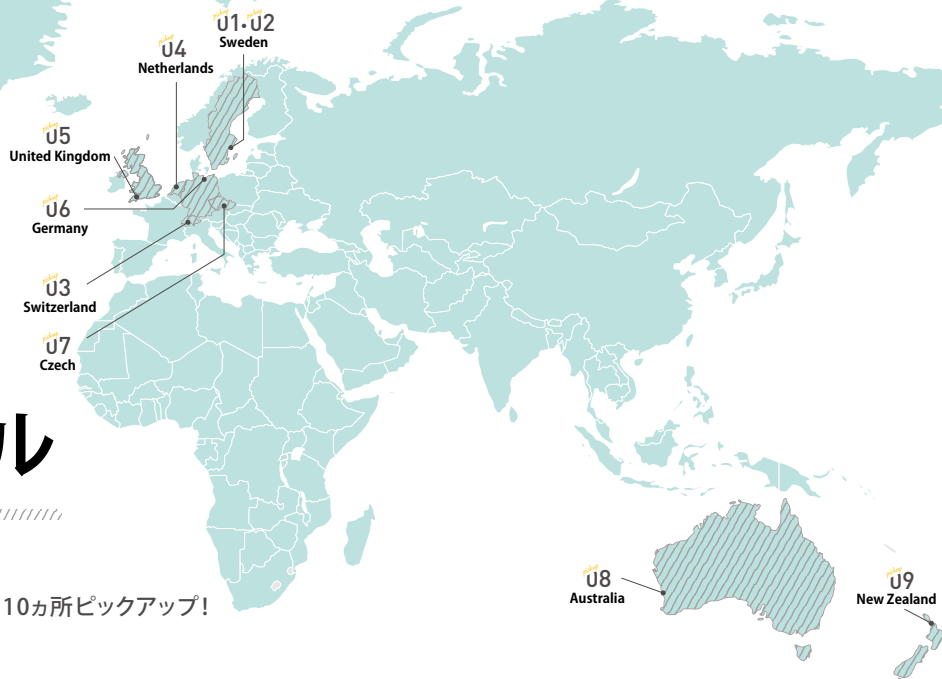
ADDRESS : Flaggmansvägen 8, Stockholm, 11149, Sweden
TEL : +46-8-4632266 FAX: +46-8-6117155
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/stockholm-af-chapman-skeppsholmen>
E-mail : chapman@stfturist.se



世界から抜粋!

おもしろ ユースホステル

世界には、さまざまなユースホステルがある。
なかでもとりわけユニークなユースホステルを10カ所ピックアップ!



pickup
U7

Litomysl - YMCA Hostel
in チェコ

チェコの有名作曲家ゆかりの場所



ユネスコの世界遺産にも登録されている、リトミシュル城内のビール醸造所だった建物を改装。チェコを代表する作曲家、スメタナの生家でもあり、内部は博物館としても公開されている。

ADDRESS : Jiraskova 133, Litomysl, 57001, Czech Republic
TEL : +420-461611051 FAX: +420-461611051
URL : <https://hihostels.com/ja/search/hostels?q=Litomysl%2C+Czech+Republic&d=cz-litomysl>
E-mail : recepce@esclitomysl.cz

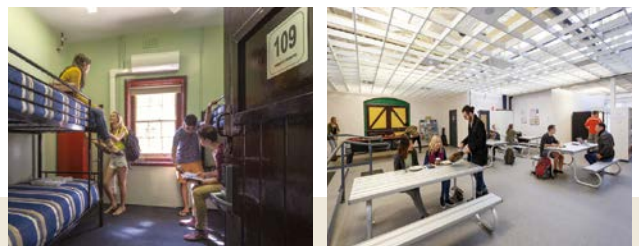


pickup
U8

Fremantle Prison YHA
in オーストラリア

世界遺産の刑務所に泊まろう!

1855~1991年まで利用された、フリーマントル刑務所を改装。客室はかつての牢屋であり、ドミトリーのほか警備員用のコテージで泊まることもできる。建物はユネスコの世界遺産にも登録されている貴重な建物。



ADDRESS : 6A The Terrace, Fremantle, Western Australia, 6160, Australia
TEL : +61-8-9433-4305
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/fremantle-prison-yha>
E-mail : fremantle@yha.com.au



pickup
U3

wellnessHostel 4000
in スイス

ウェルネス施設でリフレッシュ!



スイスの山岳リゾート、サースフェーにある。モダンなデザインの館内には、25mのプールやサウナ、ジャクージなどさまざまなウェルネス施設を備えている。客室もスタイリッシュで、快適に滞在できる。

ADDRESS : Panoramastrasse 1, Saas-Fee, 3906, Switzerland
TEL : +41-27-958-50-50 FAX: +41-27-958-50-51
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/saas-fee-youth-hostel>
E-mail : wellnesshostel4000@youthhostel.ch



pickup
U4

**Stayokay Dordrecht -
Nationaal Park De Biesbosch**
in オランダ

段ボールでできたエコルーム

自然公園内にある、フィンランド式ログハウスの客室は清潔で、デザインも美しい。注目はスペシャルルームの「Wikkelhouse」。なんとこの部屋、壁が段ボールでできている。リサイクル可能な、究極のエコルームなのだ。



ADDRESS : Baanhoekweg 25, Dordrecht, 3313 LA, Netherlands
TEL : +31-78-6212167 FAX: +31-78-6212163
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/stayokay-dordrecht-nationaal-park-de-biesbosch>
E-mail : dordrecht@stayokay.com



pickup
U5

YHA Eden Project
in イギリス

自然の中のテントドミトリー

コーンウォール州にある、植物園をメインとした巨大複合環境施設、Eden Project内。部屋は建物内のコンテナのほかテントもあり、ユニークな滞在ができる。敷地内には緑豊かな散歩コースなども備えてある。



ADDRESS : Bodelva, Cornwall, PL24 2SG, United Kingdom
TEL : +44-345-3719573
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/yha-eden-project>
E-mail : edenprojectmanager@yha.org.uk



pickup
U6

Prora mit Zeltplatz
in ドイツ

ナチス・ドイツの保養所



ナチス・ドイツが保養地として建設を進めた巨大建造物を使ったユースホステル。由来は少し恐ろしいけど、宿泊施設としては清潔で、モダンなデザインで非常に快適。海に面したロケーションもすてき。

ADDRESS : Mukraner Straße Gebäude 15, Prora, 18609, Germany
TEL : +49-38393-66880 FAX: +49-38393-668822
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/prora-mit-zeltplatz>
E-mail : jh-prora@jugendherberge.de



pickup
U9

YHA Bay of Islands, The Rock Cruise
in ニュージーランド

アクティブ派にうってつけ



ニュージーランドの北島、パイヒアにある、ハウスボートを利用したユースホステルで、チェックイン時刻が過ぎると出航し、翌朝のチェックアウト時刻までクルーズに出る。クルーズ中にはカヌーやフィッシングも楽しめる。

ADDRESS : Departs Paihia Wharf Building, Marsden Road, Paihia
TEL : +64-9-402-7796
URL : <https://www.yha.co.nz/hostels/north-island-hostels/yha-bay-of-islands-the-rock>
E-mail : bayofislands@yha.co.nz



pickup
U10

HI Ottawa Jail
in カナダ

鉄格子の中で眠れる

1862年に建てられた、もと刑務所の建物を利用したユースホステル。刑務所が閉鎖された翌年の1973年にオープン。各部屋に鉄格子が付いているなど、昔の名残も。8階にはかつての絞首台が保存されている。



ADDRESS : 75 Nicholas St, Ottawa, K1N 7B9, Canada
TEL : +1-613-2352595 FAX: +1-613-2359202
URL : <https://hihostels.com/ja/hostels/hi-ottawa-jail>
E-mail : ottawa.jail@hihostels.ca





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.18
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P20



インタビュー P02
コムアイ(水曜日のカンパネラ)
「迷惑をかける勇気」が、
旅をもっと楽しくする。



教えて! 旅GIRL P22



Youth Hostel Pick up P08
世界自然遺産 屋久島
ここにしかない自然と文化を育む
島とゲストの架け橋を目指して
屋久島ユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより..... P23



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
今後、見られなくなる可能性あり
今すぐ行きたい世界の絶景
■近い将来、遺跡と化するであろう「死に行く町」
■コロナ禍な街並みを、クラシックカーが駆け抜ける
■世界最大のサンゴ礁群に忍び寄る危機的状況
■ここ50年で形が激変! 死海の今
■100年で1km以上も! 衝撃的なアルプスの氷河の後退
■遺跡背後の山を登り、絶景の展望台へ
■世界から抜粋! おもしろユースホステル

発行所: 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島眞
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内
印刷・製本: サンメッセ株式会社
※本誌の情報は2019年9月20日現在のものです。
変更になる場合がありますので、お出かけになる前に現地にお確かめください。
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。